

令和 7 年度 秋田市の教育について

第4次秋田市教育ビジョン（概要版）

1 計画策定の趣旨

本市では、第11次秋田市総合計画（平成19年3月）の策定を一つの契機として、教育を取り巻く様々な課題等を整理するとともに、本市教育の目指すべき方向を明確にするため、平成20年3月に第1次秋田市教育ビジョンを策定しました。

その後、本市教育を取り巻く状況に対応しながら、第2次秋田市教育ビジョン（平成25年3月）、第3次秋田市教育ビジョン（平成29年3月）を策定し、学校教育や社会教育において、教育ビジョンに掲げた重点施策に取り組むとともに、毎年の点検・評価を通して、教育施策の着実な推進に努めてきました。

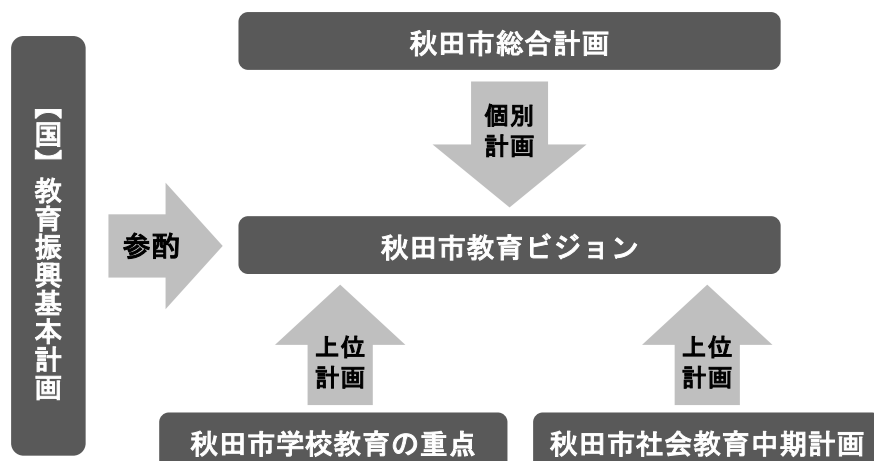
こうした中で、現行の第3次秋田市教育ビジョンの計画期間が終了することに伴い、人口減少・少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響などの社会の変容を踏まえて令和3年3月に策定した第14次秋田市総合計画との整合を図りつつ、本市教育を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、第4次秋田市教育ビジョンを策定しました。

2 計画の位置付け

本計画は、教育を取り巻く様々な課題等を整理するとともに、将来展望を踏まえた本市教育の方向性を明らかにし、今後取り組むべき施策の展望を示すものであり、その位置付けは次のとおりです。

- (1) 教育基本法第17条第2項の規定に基づいて策定する秋田市の教育振興基本計画
- (2) 本市学校教育における目標の具現化を図る「秋田市学校教育の重点」の上位計画
- (3) 本市社会教育に関する施策を推進するため策定する「秋田市社会教育中期計画」の上位計画
- (4) 市政推進の基本方針である「県都『あきた』創生プラン（第14次秋田市総合計画）」の教育部門における個別計画

本計画の位置付けイメージ



3 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

4 計画の進行管理

本計画の進行管理は、PDCAサイクル(Plan-Do-Check-Action)の考え方に基づき行います。

PDCAサイクルの「Check」は、教育委員会事務の点検・評価により行い、その結果を、次年度以降の施策・事業の改善に生かすとともに、小・中学校においては、学校訪問や教職員研修を通じた指導・助言等により、効果的な教育行政の推進に努めます。

5 本市教育の目指す姿

**あきたの未来を ともに作り ともに生きる
「自立と共生」の人づくり**

近年、人口減少・少子高齢化が進行し、超スマート社会（Society5.0）の実現や持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組が求められるなど、社会環境がめまぐるしく変化しています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の中、先を見通せない危機に対して、社会がどのように対応すべきかが問われており、教育もまた例外ではなく、その有り様が問われています。

本市では、予測できない未来を生きる市民それぞれが、困難な状況にも主体的に向き合い、よりよい社会を描きながら課題を解決していく「自立」の力と、他者の個性や価値観を尊重しつつ、協働して社会を創造する「共生」の力を身に付けることが大切であるとの考えに立ち、平成20年3月に第1次秋田市教育ビジョンを策定して以来、「自立と共生の力をはぐくむ教育」の実現を目指し、各種施策の推進に努めてきました。

本計画では、郷土への誇りと愛着を持ち、多様化・複雑化する社会を力強く歩む子どもをはぐくむための学校教育と生涯を通じて学びを続け、豊かな人生を送るための社会教育の充実に向けて、「自立と共生」を本市教育における普遍的な理念として従前の計画から継承しています。その理念の実現に向け、一人ひとりが志と意欲を持つ「自立」した人間として、主体的に新たな価値を創造し、未来を切り拓く力と、自らの個性や能力を最大限に発揮しながら、他者と「共生」し、互いに支え合い、高め合う力をはぐくみます。そして、ICT教育や多様性を尊重した教育の推進、新しい生活様式への対応など、社会の変化に柔軟かつ的確に対応しながら、本市教育の更なる発展を目指します。

6 施策体系

目指す姿	目 標	施策の方向性
あきたの未来を 「自立と共生」の 人づくり ともに つくり ともに 生きる	【目標 1】 志を持ち「徳・知・体」の調和が とれた子どもをはぐくむ教育の充実	1 豊かな人間性の育成
		2 確かな学力の育成
		3 健やかな心と体の育成
		4 今日的な課題に対応した教育の充実
		5 教育の質を高める体制の充実
		6 高等学校教育の充実
	【目標 2】 生涯を通じて学び、個性と能力を 高める教育の充実	1 学習支援体制の充実
		2 学習機会の充実
		3 学習成果の活用支援
		4 地域コミュニティづくりの推進
		5 読書活動の推進
	【目標 3】 将来にわたり安全安心で快適な 教育環境の整備	1 良好な教育環境の整備
		2 安全安心な教育環境の整備

7 計画の目標および施策の方向性

目標1：志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ教育の充実

情報化やグローバル化等により社会が急速に変化する中、子どもたちが自立した人間として、多様な人々と協働しながら、共に新たな時代を切り拓いていくためには、その原動力となる「豊かな心（徳）」、「確かな学力（知）」、「健やかな体（体）」をバランスよくはぐくむことが重要です。

本市では、「徳」が、他者と協働しながら、自立して生きていくための原動力であり、「知」や「体」と一体となり、子どもの生きる力を高めていくとの考えのもと、地域の様々な人たちとの関わりの中で豊かな人間性を身に付け、よりよい社会を創造しようとする「志」を持った子どもをはぐくむとともに、地域の方々も子どもたちの成長を支える活動を通じて、豊かな人生を送ることができる教育を推進します。

施策の方向性1：豊かな人間性の育成

人としてのあり方について考えを深め、人生をよりよく生きるための力をはぐくむことができるよう、教育活動全体を通じた道德教育の充実を図ります。

また、望ましい集団活動を通して自分の役割を果たす態度や互いのよさを認めあって協力する態度など、よりよい人間関係を築こうとする力をはぐくむ活動の充実に努めるとともに、感性を磨き、創造する力を培う読書活動の充実や、自らの生き方を考え、地域や社会とのつながりを実感するキャリア教育の充実に努めます。

施策の方向性2：確かな学力の育成

社会の変化に向き合い、自ら新しい社会を創造する子どもの育成を目指し、これまで取り組んできた互いに学び合う問題解決型の学習機会の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善に努めます。

また、ICTを活用した授業の充実を図り、情報活用能力の育成に取り組みます。

さらに、様々な文化や価値観にふれることで考えを深めるとともに、たくさんの人との関わりを通して、他者と協働する力を培います。

施策の方向性3：健やかな心と体の育成

心身の健康づくりのため、自ら健康な生活を送ろうとする力を培う保健教育、体を動かすことの楽しさや喜びを実感する体育学習、豊かな食生活を主体的に営むための食育の充実を図ります。

施策の方向性 4：今日的な課題に対応した教育の充実

いじめや不登校への対応については、子どもの心に寄り添った生徒指導の充実や、子どもたちの主体的な活動の推進に努めるとともに、校内指導体制を整え、組織的かつ迅速な対応を図ります。

ネットトラブルの防止については、トラブルを回避する知識や技能に加え、ネット利用時のルールやマナーを子どもたちに身に付けさせる指導の充実に努めます。

特別支援教育については、子ども一人ひとりの状況等に応じ、よりきめ細かな指導や支援に努めるとともに、障がいの有無にかかわらず、互いに認め合い、共に生きていこうとする態度をはぐくみます。

防災教育については、災害から子どもたちを守るため、自ら危険を予測し回避する力を身に付けさせる指導の充実に努めるとともに、学校防災マニュアル等の不断の見直しを行うなど、日ごろから災害の発生に備えた体制づくりを推進します。

施策の方向性 5：教育の質を高める体制の充実

教職員研修については、教職キャリア指標に応じた研修に加え、様々な教育課題に対応する力を身に付けるための研修を推進するとともに、学校経営への参画意識を醸成し、校内の組織力を高める研修会、ICT活用のスキルや授業力の向上を目指した実践的な研修や授業研究会等の充実に努め、教職員の専門性や資質・能力の向上に取り組みます。

学校段階間連携については、連続性と系統性を踏まえ、発達段階に応じたきめ細かな学習指導の充実や、学校間における交流活動を通じた豊かな心の育成に努めます。

また、地域全体で子どもをはぐくむ体制の充実を図るため、学校運営協議会の活性化に努めるなど、地域との連携を一層推進するとともに、関係機関や外部人材を積極的に活用するなど、組織的に子どもたちを育てていく体制の強化に取り組みます。

学校における働き方改革については、勤務時間への意識を高める取組を推進するとともに、各校の多忙化防止計画に基づく業務改善や外部人材の積極的な活用により、業務の負担軽減を図ります。

施策の方向性 6：高等学校教育の充実

各校においては、地域社会の形成に主体的に参画する資質や能力を高め、本市の将来を担う人材を育成する市立高等学校等の役割を踏まえ、生徒一人ひとりの個性の伸長を図るとともに、地域との関わりを重視した教育課程を実施するなど、各校の特色を生かした教育の充実に努めます。

目標 2：生涯を通じて学び、個性と能力を高める教育の充実

「自立と共生」の力は、生涯にわたって、多様な場で様々な学習経験を積み重ねていく中で身に付くものです。

また、人口減少・少子高齢化が進行し、個人の自立に向けた学習ニーズが高度化・多様化している中、持続可能な社会を実現するため、学校と家庭、地域が連携し、人づくり・つながりづくり・地域づくりに取り組むことが、今後ますます重要になってきます。

本市では、市民一人ひとりが、いつでもライフステージに応じた学習の機会が得られ、学習成果を生かしながら、自らの個性と能力を高めることができる教育の充実に努めます。

施策の方向性 1：学習支援体制の充実

市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、市民協働による「学び」の推進体制の充実に努めます。また、市民の学習意欲を高める各種学習情報の提供に努めます。

施策の方向性 2：学習機会の充実

市民一人ひとりが充実した学習活動ができるよう地域資源や施設の特性を生かし、個々の学習ニーズと社会の要請に応じた魅力ある学習機会の提供に努めます。

施策の方向性 3：学習成果の活用支援

学習者の学習意欲を高めるため、サークル活動等を発表する機会を提供するとともに、学習成果を社会参加や社会貢献活動として生かせる環境の充実に努めます。

施策の方向性 4：地域コミュニティづくりの推進

学校・家庭・地域の連携を進めるとともに、地域で行っている各種学習活動を支援することにより、家庭や地域の教育力の向上に努めます。

施策の方向性 5：読書活動の推進

図書館においては、従来のサービスはもとより、図書館システムやWEB上の情報検索環境の更新や電子書籍の導入など、ICTを活用しながら、市民がより利用しやすい図書館の実現に取り組みます。

目標 3：将来にわたり安全安心で快適な教育環境の整備

少子化や情報化など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちの健やかな成長を支え、多様な子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するための教育環境の整備をより一層進めていく必要があります。

そのため、将来にわたり子どもたちにとって良好な学校教育環境を提供できるよう、学校の適正配置とともに、ICT環境や学校施設の整備、安全な学校給食の提供、通学路の安全確保などといった様々な面から環境整備を推進します。

また、社会教育施設における計画的な施設設備の改修・更新を行うとともに、市民の多様なニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育の環境づくりに努めます。

施策の方向性 1：良好な教育環境の整備

子どもたちにとって良好な教育環境を確保するため、学校の適正配置を推進するほか、経済的な支援や障がいの特性に応じた学習環境の整備に継続して取り組みます。

また、GIGAスクール構想の推進により、子どもたちが、ICTを活用して情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造する活動や、互いの考えを共有して学びあう活動を通して思考力や表現力等をはぐくみます。

施策の方向性 2：安全安心な教育環境の整備

子どもたちが安全で快適に学び、安心して過ごせる教育環境の整備・充実に努めるほか、衛生管理の徹底や施設の一斉点検、アレルギー除去食や代替食の提供などにより、安全で安心な学校給食の実施に努めます。

また、学校の適正配置の進行を踏まえつつ、学校施設の計画的な老朽化対策および安全対策に取り組むほか、市民の様々なニーズに対応できるよう社会教育施設の設備充実に努めます。

令和 7 年度の主要な施策・事業

※経費として独立していない事業については、予算額を記載していない。

※【新】は新規事業、【拡】は拡充事業、【再】は再掲事業を表している。

目標１：志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ教育の充実

【施策の方向性１：豊かな人間性の育成】

１ 道徳教育の充実…教育ビジョンP54

- 子どもたちが命の尊さを知り、善悪を判断する力や他者を思いやる心、自らを律する心など、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図ります。
- 自己を見つめ、人としてのよりよい生き方やあり方について深く考え、語り合う、「特別の教科 道徳（道徳科）」の充実を図ります。
- 学校・家庭・地域が共通理解を図り、連携して子どもの道徳性をはぐくむ取組の充実に努めます。

（単位：千円）

事業・取組	内 容	予算額
教育活動全体を通じた道徳教育の推進 （学校教育課）	子どもたちが命の尊さを知り、善悪を判断する力や他者を思いやる心、自らを律する心など、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、学校行事や体験活動、各教科等との関連を図った道徳教育を推進する。	—
家庭、地域と連携した取組の推進 （学校教育課）	道徳教育に関する意見交換や道徳科の授業公開などを通して、学校、保護者、地域が一体となって子どもを育てる取組を推進する。	—
「人権の花」運動の実施 （総務課）	児童が互いに協力し合いながら花を育て、命の大切さや相手への思いやりといった人権尊重の心をはぐくむとともに、情操をより豊かにする「人権の花」運動を実施する。 【実施予定】 保戸野小学校、飯島小学校、大住小学校、御所野小学校	1,506

2 人間関係を築く力の育成…教育ビジョンP55

- 自分や相手のよさを理解し大切にすることの態度や、進んで他者と関わろうとするコミュニケーション能力をはぐくむため、互いに心が通い合う学級づくり・集団づくりに取り組みます。
- 他者と協働することの大切さや、人の役に立つことへの喜びなど、子どもが人と人との絆のすばらしさを実感する学習や集団活動、体験活動の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
学級づくり、集団づくりの充実 (学校教育課)	集団のよさや人間関係を築くことの大切さを実感する学級活動や異年齢集団活動等の充実に努める。	—
Q－U調査を生かした学級集団づくり (教育研究所)	小学5年生と中学2年生を対象に、学級に対する満足度等を客観的に把握するQ－U調査を実施する。	2,014
「はばたけ秋田っ子」教育推進事業の実施 (学校教育課)	全市的な学校間交流を推進するため、「中学生サミット」を開催する。	234

3 郷土に根ざしたキャリア教育の充実…教育ビジョンP55

- 学ぶ目的や学びを続けることの意義について理解を深める指導に努めます。
- 地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努めます。
- ふるさとへの愛着と誇りを持ち、郷土の発展に積極的に関わろうとする態度をはぐくむため、郷土の歴史や文化、自然などについて理解を深める学習や、地域に貢献する人材を活用した学習の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
啓発的な体験活動の推進 (学校教育課)	地域や家庭と連携を図りながら、自己と他者、社会とのつながりを実感する啓発的な体験活動の充実に努める。	—
副読本「わたしたちの秋田市」の作成 (学校教育課)	副読本「わたしたちの秋田市」を作成し、郷土の歴史や文化について理解を深める学習の充実に努める。	2,542

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
郷土の伝統や文化等について学ぶ機会の充実 (学校教育課)	郷土の歴史や文化、自然などについて理解を深める学習や、地域に貢献する人材を活用した学習の充実を図る。	—
主体的な教育活動の支援 (総務課)	校長の経営方針に基づき、啓発的な体験活動等を推進するなど、各校が重点的に取り組む教育活動を支援する。	22,790

4 読書活動の充実…教育ビジョンP56

○子どもたちが読書活動を通して感性や創造力を豊かにし、生涯にわたって読書に親しむことができるよう、学校図書の環境整備・充実に努めるとともに、多様な本にふれる機会の提供など、読書習慣の定着と読書意欲の向上を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
小・中学校図書の整備・更新 (総務課)	児童生徒の学習活動や読書活動の充実を図るため、学校図書館の蔵書を整備・更新する。	16,800
学校図書館の活用に関する研修の充実 (教育研究所) (学校教育課)	学校図書館の運営や効果的な活用、公立図書館との連携について、学校図書館担当教員と学校司書が共に学ぶ研修を実施する。 ・学校図書館担当、学校司書研修会	30
学校司書の配置 (学校教育課)	学校図書館の環境整備や読書活動の一層の充実を図り、魅力ある学校図書館づくりを推進するため、市立小・中学校に学校司書を配置する。 【配置人数】22人（全ての小・中学校に配置し、1校あたり週1～3日派遣）	34,002

【施策の方向性 2：確かな学力の育成】

1 学習指導の充実…教育ビジョン P57

- 一人ひとりの学習状況を把握し、個に応じた指導の充実に努めます。
- 意欲を高め、見通しを持って学ぶことができるよう、単元・題材の構成や導入の工夫、身に付いた力が実感できる振り返りなどの工夫に努めます。
- 基礎・基本の定着を図るため、身に付けさせたい力を明確にし、指導過程や学習形態の工夫に努めます。
- 主体的に課題を設定し、解決するために必要な情報を収集・蓄積するとともに、知識や技能の活用を図ることで、思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業の構築に努めます。
- 情報を他者と共有し、互いの考え方の共通点や相違点を理解しながら、学び合いを通して課題を解決していく場を設定するなど、協働的な学習の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
学校訪問指導や研修の充実 (学校教育課) (教育研究所)	確かな学力をはぐくむ授業づくりを目指し、指導主事等による学校訪問指導や教職員研修の充実を図るとともに、各校の課題解決に向けた校内研修を支援する。 【学校訪問指導】市立小・中・高等学校等62校 【教職員研修】60研修	—
秋田っ子・あい調査の実施 (教育研究所)	小学5年生から中学3年生を対象に、学習や生活等に関する意識や実態を把握する調査を実施する。	—
全市一斉授業研究会の実施 (教育研究所) (学校教育課)	教職員の授業力向上と学校教育の活性化を目指し、全市の教職員が参加する全市一斉授業研究会を実施する。	—
小・中学校教師用教科書・指導書の購入 (学事課)	小・中学校の教員および特別支援学級の児童生徒・教員が使用する教科書、指導書を購入する。	49,801
小・中学校理科教育設備等の整備 (学事課)	学習環境の充実を図るため、理科教育振興法に基づく理科設備および算数・数学設備の整備を行う。	384

2 ICTを活用した教育の推進…教育ビジョンP58

- 各教科等において効果的なICT機器の活用を図り、児童生徒の情報活用能力をはぐくみます。
- 教職員研修や指導主事等による訪問研修などにより、教職員のICT活用のスキル向上を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
ICT活用の推進 (教育研究所) (学校教育課)	ICT機器を活用した授業実践例等をまとめた指導資料を作成するとともに、学校訪問指導や研修を通して、ICTの効果的な活用を推進する。 ・情報教育主任研修会 ・ICT活用研修会 ほか	60
課題別研修（ICTを活用した教育）の推進 (教育研究所)	課題研究推進校において実践的な研究に取り組み、その研究成果を全市で共有する。 【委嘱校】港北小学校	16

3 グローバル化に対応した教育の推進…教育ビジョンP59

- 各教科等において、多様な文化や価値観、生き方にふれ、広い視野から課題を探究する学習活動の充実を図るなど、異文化を理解し、様々な人々と協働して社会を創ろうとする資質や能力をはぐくみます。
- グローバル社会に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
外国語指導助手の派遣 (学校教育課)	英語教育におけるコミュニケーション能力の向上を図るため、小・中学校および高等学校等に外国語指導助手（ALT）を派遣する。 【派遣人数】市立小・中・高等学校等に37人	16,164
英語教育の推進に向けた研修の充実 (教育研究所)	外国語活動、外国語科の授業力向上や、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る研修を実施する。 ・外国語科、外国語活動研修会 ・英会話研修会	30

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
イングリッシュスクールの実施 (学校教育課)	グローバル化が急速に進展する状況を踏まえ、児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図るため、外国語指導助手(ALT)を活用し、小・中学校を対象とした英語による体験活動等を実施する。	—
小学校外国語活動外部指導者の派遣 (学校教育課)	小学校中学年における外国語活動に、市内在住のネイティブスピーカーなどを派遣する。 【派遣人数】小学校中学年に9人	2,387
日本語指導支援サポーターの派遣 (学校教育課)	多様な背景をもつ外国人児童生徒に対して、日本語指導支援サポーターを派遣し、一人ひとりの状況等に応じたきめ細かな支援の充実を図る。 【派遣人数】37人	50,122

【施策の方向性3：健やかな心と体の育成】

1 保健教育の充実…教育ビジョンP60

- 健康の保持増進のために、身近な健康課題を解決する学習活動の充実に努め、子どもたちの規則正しい生活習慣の意識化を図ります。
- 子ども一人ひとりが自分自身を肯定的に捉え、自信を持てるよう自己有用感をはぐくみ、自尊感情を高める指導や支援に努めます。
- 心身の健康や多様性などについて、一人ひとりの状況に応じた指導の充実や子どもの心に寄り添った支援に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
副読本「わたしたちの健康」の作成 (学校教育課)	児童が自らの健康や発育等を見つめ、望ましい生活習慣を身に付けることができるよう、副読本「わたしたちの健康」を作成し、活用の推進を図る。	865
フッ化物洗口の実施 (学事課)	児童生徒のむし歯予防対策の推進と自らの健康に関する意識の向上を図るため、全市立小・中学校でフッ化物洗口を実施する。 【実施予定回数】小・中学校 各28回	7,264
健康教育推進関係団体への支援 (学事課)	本市学校保健の振興と児童生徒・教職員の健康保持増進を図るため、秋田市学校保健会が実施する児童生徒に対する健康教育の充実に資する事業等に対して補助金を交付する。	120

2 体力の向上…教育ビジョンP61

○子ども一人ひとりの体力や運動能力の実態を踏まえ、体を動かすことの楽しさを実感させるとともに、思い切り体を動かす時間を確保したり、主体的に活動できるような場の設定を工夫したりするなど、日常的に運動に親しむ環境づくりに努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
体力の向上や体育学習の授業改善を図る指導資料の作成 (教育研究所)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の結果を踏まえ、子ども一人ひとりの体力・運動能力の向上や指導の改善・充実に向けた指導資料を作成し、活用の促進を図る。	—
小学校地区別陸上運動記録会の実施 (学校教育課)	体力の向上への意欲を高めるとともに、児童同士の交流を図ることを目的とし、小学校地区別陸上運動記録会(各校開催)を実施する。	481
中学校部活動外部指導者の派遣 (学校教育課)	専門的な技術を有する外部指導者を中学校の運動部および文化部に派遣する。 【派遣人数】31人(1回あたり2時間程度、年間17回派遣)	1,639
部活動指導員の配置 (学校教育課)	専門的な知識・技能を有する部活動指導員を配置し、教員の多忙化を軽減するとともに、部活動の質的な向上を図る。 【配置人数】24人(平日週3日・休日週1日、年間28週)	8,450
【拡】中学校部活動の地域移行の推進 (学校教育課)	休日の中学校部活動の地域への円滑な移行を進めるため、関係団体等との連絡・調整を行う総括コーディネーターを配置するとともに、「合同地域スポーツ活動」に指導者を派遣する。 【コーディネーター配置人数】1人 【指導者派遣予定数】9種目45人(1回あたり3時間程度、年間32～48週)	10,468

3 食育の推進…教育ビジョンP61

○生涯にわたって健全な食生活を送ることができるよう、望ましい食習慣の定着を図るとともに、食への感謝の気持ちや郷土の食文化への誇りをはぐくむため、学校給食を活用した食に関する指導や、健康に関する個別指導および家庭・地域と連携した取組の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
給食献立作成委員会による献立作成 (学校教育課)	子どもの適切な栄養管理や栄養指導の充実、学校給食の効果的な運営を目指し、学校給食献立作成委員会による献立作成を推進する。 【実施回数】年3回(7月、10月、2月)	—
「まるごと秋田を食べよう給食」の実施 (学校教育課)	秋田の農産物のよさを実感できるよう、地場産農産物を使用したり、郷土料理を献立に取り入れた学校給食を実施する。 【実施回数】年1回(11月)	119
「食から秋田を知ろう～秋田市民市場を活用して～」の実施 (学校教育課)	秋田の食の豊かさを気づかせ、健全な食生活を営む力をはぐくむため、秋田市民市場を活用し、体験活動を実施する。 【実施校数】年2～3校(希望を募り、市民市場と実施回数を決定)	—
学校訪問指導や研修の充実 (学校教育課) (教育研究所)	食育の推進および指導力の向上を目指し、指導主事等による学校訪問指導や教職員研修の充実を図る。 ・栄養教諭・学校栄養職員研修会 ほか	30
学校給食支援員の配置 (学校教育課)	学校給食の安全確保および食育の推進を図るため、学校給食事務を補助する学校給食支援員を配置する。 【配置人数】20人	30,591

【施策の方向性４：今日的な課題に対応した教育の充実】

１ いじめ問題への対応…教育ビジョンP63

○いじめの未然防止を図るため、「秋田市いじめ防止基本方針」に基づき、子ども一人ひとりに「いじめは決して許されない行為である」ことの理解を促し、子ども主体のいじめ防止の取組を推進します。

○いじめの早期発見、早期解決を図るため、些細な兆候であっても、軽視することなくいじめを認知するとともに、いじめを認知した際には、校内のいじめ対策委員会による明確な対応方針のもと、保護者と連携を図りながら、迅速かつ丁寧な対応に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組の推進 (学校教育課)	各校のいじめ対策委員会による明確な対応方針のもと、組織的な対応を図るなど、「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組を推進する。	—
いじめ防止の取組を推進する研修の充実 (教育研究所)	いじめ問題に関する基本的な考え方や組織的な対応のあり方について理解を深める研修を実施する。 ・いじめ防止・対応等研修会 ・生徒指導主事研修会 ほか	30
子ども主体のいじめ防止に向けた取組の推進 (学校教育課)	「中学生サミット」や児童・生徒会が中心となった子ども主体のいじめ防止に向けた取組を推進する。	—
秋田市いじめ対策委員会の運営 (学校教育課)	秋田市いじめ対策委員会による本市のいじめ防止の取組に対する意見や提言を踏まえ、取組の検証、改善を図る。 【実施回数】年３回の定例会のほか、必要に応じて随時開催（委員６人）	305
いじめ防止に係る啓発活動の推進 (学校教育課)	本市のいじめ防止のための基本的な方針への理解を深めるため、保護者向けリーフレットを作成・配布するなどの啓発活動を推進する。	13
スクールロイヤーの配置 (学校教育課)	いじめ問題や学校事故等の諸課題について、学校からの相談に応じ、法的側面から助言・指導を行う弁護士（スクールロイヤー）を配置する。	750

2 不登校児童生徒への支援の充実…教育ビジョンP63

- 不登校の未然防止を図るため、人間関係を築く力をはぐくむ集団づくりや、自己有用感を実感できる授業づくりを行うとともに、保護者等と連携を図りながら、子ども一人ひとりの状況や発達の特性に応じた支援の充実に努めます。
- 不登校対応コーディネーターを中心とした組織的な取組を推進するとともに、スクールカウンセラーや広域カウンセラー、関係機関等を効果的に活用した教育相談体制の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
教育相談体制の充実 (学校教育課)	不登校対応コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーや関係機関と連携して、不登校に悩む子どもや保護者を支援するなど、子ども一人ひとりの状況に応じた組織的な対応の充実を図る。	—
不登校児童生徒への支援に係る研修の充実 (教育研究所)	不登校の未然防止や児童生徒への支援、人間関係を築く力をはぐくむ集団づくり等について理解を深める研修を実施する。 ・教育相談担当等研修会 ・不登校対応等研修会 ・学級づくり・集団づくり研修会 ほか	72
教育支援センター 「すくうる・みらい」 の運営 (学校教育課)	不登校児童生徒を支援する各種事業を実施する。 ・「すくうる・みらい」の運営 ・体験活動の実施 ・引きこもりの児童生徒の家庭へのフレッシュフレンドの派遣 ・タブレット端末を活用したオンライン等による支援 ・相談活動の実施 ・「心のふれあい相談会」の開催 (年2回)	5,493

3 特別支援教育の充実…教育ビジョンP64

- 子ども一人ひとりの状況や教育的ニーズを踏まえ、個別の教育支援計画や指導計画に基づき、全校体制できめ細かな支援の充実を図るとともに、障がいの状況に応じた合理的配慮の提供に努めます。
- 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築の理念を踏まえ、障がいのある子どもと障がいのない子どもが、互いに認め合い共に生きていくための基盤づくりとなる交流及び共同学習の充実を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
学校訪問指導や研修の充実 (学校教育課) (教育研究所)	子ども一人ひとりの状況に応じた支援の充実を目指し、指導主事等による学校訪問指導や教職員研修の充実を図る。 ・特別支援教育研修会 ・特別支援教育コーディネーター研修会 ・特別支援学級担任研修会 ほか	151
小・中学校特別支援学級新設に伴う整備 (総務課)	児童生徒の障がいに適応した教育を行うため、新設される特別支援学級に指導上必要な教材備品を整備する。	1,984
【拡】学級生活支援サポーターの派遣 (学校教育課)	通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の学級生活全般について支援するために、学級生活支援サポーターを派遣し、特別支援教育の充実を図る。 【派遣人数】 1,271人の児童生徒に対し、250人のサポーターを派遣	352,076
学校行事等支援サポーターの派遣 (学校教育課)	特別な支援を必要とする児童生徒のために、学校行事等に参加する際のサポーターを派遣し、特別支援教育の充実を図る。 【派遣予定】 年1,100時間、35人	1,515
【拡】医療的ケア看護職員の派遣 (学校教育課)	医療的ケアを必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、医療的ケア看護職員を派遣する。 【派遣人数】 3人の看護職員を派遣	11,613

4 情報モラル教育の充実…教育ビジョンP65

- 複雑化、深刻化するネットトラブルを防止するため、トラブルを回避する知識や技術の指導の充実を図るとともに、情報に関する自他の権利を尊重し、ルールやマナーを守ろうとする態度をはぐくみます。
- トラブルの未然防止に向け、学校と家庭、地域が連携した啓発活動に取り組みます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
情報モラル教育の推進に向けた研修の充実 (教育研究所)	ネットトラブルの現状と課題を把握し、ネット利用のあり方やトラブルへの対応について理解を深める研修を実施する。 ・情報教育主任研修会 ・生徒指導主事研修会 ほか	60
ネットトラブル防止に係る啓発活動の推進 (学校教育課)	秋田市PTA連合会等と連携し、教職員と保護者が共に学ぶ取組を推進する。	—
課題別研修（情報モラル教育の充実）の推進 (教育研究所)	課題研究推進校において実践的な研究に取り組み、その研究成果を全市で共有する。 【委嘱校】泉中学校	16

5 防災教育の充実…教育ビジョンP66

- 災害に関する学習や防災訓練等を通して、正しい知識や対応方法を身に付けさせ、自分の命を守り安全を確保する力の育成に努めます。また、災害時に互いに協力し、助け合おうとする態度をはぐくみます。
- 学校や地域の実情を踏まえた「学校安全計画」や「学校防災マニュアル」を策定するとともに、不断の見直しを行い、常に災害発生に迅速に対応できる体制の構築に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
防災教育の推進に向けた研修の充実 (教育研究所)	学校安全や防災教育のあり方等について理解を深める研修を実施する。 ・学校安全・防災教育研修会	15
避難訓練や防災教室の実施 (学校教育課)	災害に適切に対応する能力を高める、学校、家庭、地域が連携した合同避難訓練、引き渡し訓練、関係機関と連携を図った防災教室を実施する。	—

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
防災計画の見直し (学校教育課)	防災安全対策課と連携して、各校の防災計画の見直しを図る。	—

【施策の方向性５：教育の質を高める体制の充実】

１ 教職員研修の充実…教育ビジョン P 68

- 教職員として求められる資質・能力の向上を図るため、教職キャリア指標に応じた体系的な研修や、喫緊の教育課題に対応する能力を高める研修の充実に努めます。
- 授業力の向上を図るため、体験型、問題解決型の研修に加え、互いの指導技術を学び合う授業研究会を実施するなど、研修内容の充実に努めるとともに、校内研修の充実のための支援に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
教職員研修の充実 (教育研究所)	教職員として求められる資質・能力の向上を図るため、教職キャリア指標に応じた体系的な研修や、喫緊の教育課題に対応する能力を高める研修を実施する。 ・基本研修（小中学校初任者研修、小中学校教職２年目研修、中堅教諭等資質向上研修） ・職務別研修（校長研修会、教務主任研修会、講師研修会など） ・専門研修（教科等の研修会、実験・実技講習会） ・特別研修（特別支援教育研修会、不登校対応等研修会、いじめ防止・対応等研修会、学校安全・防災教育研修会など） ・課題別研修（ＩＣＴを活用した教育の推進【委嘱校】港北小学校、情報モラル教育の充実【委嘱校】泉中学校） ・全市一斉授業研究会	2,213

2 系統性・連続性を踏まえた教育の充実…教育ビジョンP68

- 子どもの発達や学びの連続性を踏まえた指導を行うため、子ども同士の交流機会や、幼保小の教員・保育士による合同研修会などの充実に努めます。
- 子ども一人ひとりが安心して小学校生活を始め、自信や意欲を持って活動することができるよう、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続に努めます。
- 小中9年間を一つのまとまりとしてとらえ、子どもの発達の段階に応じたきめ細かな指導を行うため、小学校と中学校が「目指す子ども像」を共有し、系統性と発展性のある学習指導や、小・中学生がふれあいの中で豊かな人間関係をはぐくむ交流活動を実施するなど、中学校区における小学校の設置状況や学校規模に応じて、小中一貫した考えに立った教育活動の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
幼保小の連携のあり方について学ぶ研修の充実 (教育研究所)	発達の段階に応じた支援や幼児期の教育と小学校教育との連携のあり方について、幼保小の教員・保育士が共に学ぶ研修を実施する。 ・幼保小連携研修会	10
スタートカリキュラムの実践・検証 (学校教育課)	幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図るスタートカリキュラムについて、PDCAサイクルを生かした実践・検証に取り組む。	—
小中一貫した考えに立った教育の充実 (学校教育課)	一貫性と発展性のある学習指導など、学校規模や設置形態に応じた小中一貫した考えに立った教育の充実を図る。	—

3 家庭・地域・関係機関等との連携体制の充実…教育ビジョンP69

- 学校と家庭・地域・関係機関等が相互に連携し、目指すべき子どもの姿や学校の経営方針を共有して子どもの成長を支える体制の強化に努めます。
- 子どもたちの学びや心身の健康等を支えるために、関係機関や外部人材を積極的に活用し、専門的な視点から子どもを支援する体制の充実を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
コミュニティ・スクールの充実 (学校教育課)	学校や保護者、地域住民が学校経営ビジョンを共有し、互いに協力し合う体制づくりを推進するため、学校運営協議会の効果的な活用を図る。	1,220

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
「絆づくり教育プラン」の推進 (学校教育課)	各校の特色や地域性を生かした「絆づくり教育プラン」を作成し、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら、子ども同士、学校と家庭・地域との絆づくりを推進する。	—
【再】中学校部活動外部指導者の派遣 (学校教育課)	専門的な技術を有する外部指導者を中学校の運動部および文化部に派遣する。 【派遣人数】31人(1回あたり2時間程度、年間17回派遣)	1,639
【再】【拡】中学校部活動の地域移行の推進 (学校教育課)	休日の中学校部活動の地域への円滑な移行を進めるため、関係団体等との連絡・調整を行う総括コーディネーターを配置するとともに、「合同地域スポーツ活動」に指導者を派遣する。 【コーディネーター配置人数】1人 【指導者派遣予定数】9種目45人(1回あたり3時間程度、年間32～48週)	10,468
【再】郷土の伝統や文化等について学ぶ機会の充実 (学校教育課)	郷土の歴史や文化、自然などについて理解を深める学習や、地域に貢献する人材を活用した学習の充実を図る。	—

4 教員の働き方改革の推進…教育ビジョンP69

○教員が心身ともに健康で子どもたちと向き合うため、各校の多忙化防止計画に基づいた業務改善を着実に実施するとともに、勤務時間に対する意識の向上に取り組むなど、教員の働き方改革の推進に努めます。

○教員の負担軽減を図るため、部活動指導や児童生徒を支援する外部人材の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
多忙化防止計画に基づく業務改善の推進 (教職員室)	教員が心身ともに健康で子どもたちと向き合うため、多忙化防止計画に基づき、業務の見直しと改善を進める。 ・勤務時間管理簿による勤務状況の把握 ・教職員の多忙化の状況に関する調査	—

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
【拡】外部人材の活用 (教職員室)	教員の負担軽減を図るため、児童生徒の支援や部活動の指導などをする外部人材を市立小・中学校に派遣する。 【配置予定】 ・学級生活支援サポーター 352,076千円 ・学校行事等支援サポーター 1,515千円 ・日本語指導支援サポーター 50,122千円 ・小学校外国語活動外部指導者 2,387千円 ・中学校部活動外部指導者 1,639千円 ・学校給食支援員 30,591千円 ・学校司書 34,002千円 ・医療的ケア看護職員 11,613千円	483,945
【再】部活動指導員の配置 (学校教育課)	専門的な知識・技能を有する部活動指導員を配置し、教員の多忙化を軽減するとともに、部活動の質的な向上を図る。 【配置人数】24人(平日週3日・休日週1日、年間28週)	8,450

【施策の方向性6：高等学校教育の充実】

1 秋田商業高等学校の教育の充実…教育ビジョンP70

- 本県唯一の商業高等学校として、地域に貢献できる人材を育成するため、「ビジネス実践」の更なる充実を図るとともに、文武両道の伝統校として心身の錬磨に努めます。
- 学習成果を地域社会に積極的に発信するほか、会計・情報・流通経済の各コースにおける資格取得を目指した専門科目の指導の充実に取り組みます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
地域と連携したビジネス実践学習の充実 (商業高校)	AKI SHOPやキッズビジネスタウン、エコロジカルビジネスなど、地域と連携を図りながら、生徒の主体的、創造的な学習活動を推進する。	165
専門科目の指導の充実 (商業高校)	会計・情報・流通経済の各コースにおける資格取得を目指した専門科目の指導の充実を図る。	—
スクールカウンセラーの配置 (商業高校)	臨床心理士資格保有者をスクールカウンセラーとして配置する。	342

2 御所野学院高等学校の教育の充実…教育ビジョンP71

- 連携型中高一貫教育校として、一人ひとりの個性や能力の伸長を図るとともに、国際感覚を身に付け、郷土を愛し、発展に寄与しようとする人材の育成に取り組みます。
- 連携型中高一貫教育校の特長を生かし、表現科、郷土学、中高合同体験活動など、特色ある教育活動の充実を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
中高一貫校としての特色ある教育活動の充実 (御所野学院高校)	中高一貫教育校の特長を活かした表現科、郷土学の中高合同活動を実施するほか、国際教養大学や秋田県立大学と連携し、思考力や表現力を高める学習の充実を図る。	2,156
スクールカウンセラーの配置 (御所野学院高校)	臨床心理士資格保有者をスクールカウンセラーとして配置する。	342

3 秋田公立美術大学附属高等学院の教育の充実…教育ビジョンP71

- 美術系の高等課程をもつ公立の専修学校として、秋田公立美術大学と連携した高度な専門教育を実践するとともに、時代の要請に応じた教育内容の充実を図り、人間性と専門性を磨き、社会・地域・文化に貢献できる人材の育成に努めます。
- 大学入学資格付与指定の専修学校として、専門教育とともに各教科の指導の充実を努め、幅広い進路の実現を支援します。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
専門性を高める学習活動の充実 (附属高等学院)	秋田公立美術大学と連携した専門教育の授業や作品鑑賞、共同制作の機会を設けるなど、時代の要請に応じた教育内容の充実を図る。	—
学習成果の発信 (附属高等学院)	生徒作品展「明日のクリエイターたち」を開催するなど、学習成果を広く発信する機会の充実を図る。	367
地域協働プロジェクトの推進 (附属高等学院)	社会や地域、文化に貢献できる人材を育成するため、「ビダイフデザインラボ」を窓口とし、美術の専門性を生かして地域に貢献する活動を推進する。	—

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
スクールカウンセラ ーの配置 (附属高等学院)	臨床心理士資格保有者をスクールカウンセラーと して配置する。	240

目標２：生涯を通じて学び、個性と能力を高める教育の充実

【施策の方向性１：学習支援体制の充実】

１ 多様な団体等との連携・協働の推進…教育ビジョンP72

- 高等教育機関や関係機関等が持つ高い専門性や幅広い分野でのノウハウを生かし、社会教育・生涯学習事業を推進します。
- 地域の団体やサークルなどの学習活動を支援し、様々な分野での学習活動の活性化を推進します。
- 生涯学習奨励員による学習相談など活動の充実を図り、市民の「学び」に対する意識の醸成や事業への参加を促します。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
高等教育機関や民間企業等と連携した講座等の実施 (生涯学習室)	多様化する市民の学習ニーズに対応するため、大学や民間企業等の関係機関と連携・協力して各種講座等を実施する。 ・市民大学講座 ・家庭教育講座 ・高等教育機関との連携事業 ほか	464
地域の自主的な学習活動への支援 (生涯学習室)	市民サービスセンターにおいて、町内会や子ども会などの地域の団体等が自主的に企画する学習活動に対し講師謝金の一部を支給する。 【地域づくり自主企画事業数】27事業	267
生涯学習に関する相談体制の充実 (生涯学習室)	市民サービスセンターの窓口等における日常的な学習相談を実施するほか、「市民サービスセンターまつり」や「コミセンまつり」において、生涯学習奨励員による特設の相談窓口を設置する。 【生涯学習奨励員による生涯学習相談事業実施回数】83回	87

2 各種学習情報の発信の充実…教育ビジョンP72

- 各種学習に関する情報が、十分に届くよう様々な媒体を活用して周知に努め、学習活動の促進を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
生涯学習に関する情報の提供 (生涯学習室)	各種講座やサークル情報などの生涯学習関連事業を紹介する「生涯学習ガイド」を作成し冊子やホームページで情報提供するほか、広報誌等を活用し各種学習情報について周知する。 【生涯学習ガイド作成冊数】400冊	51

【施策の方向性2：学習機会の充実】

1 ライフステージに応じた学習機会の充実…教育ビジョンP73

- 乳幼児期から高齢期にわたる「学び」の機会の更なる充実を図るとともに、現代的課題や地域課題に取り組むなど社会の変化に対応した「学び」の機会を提供します。
- 若年層が学びやすい体制づくりと事業内容の充実に努め、様々な知識の習得や学習への参加を支援します。
- 太平山自然学習センターや自然科学学習館においては、様々な体験学習を実施し、青少年の健全育成や市民の生涯学習の推進に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
ライフステージに対応した学級・講座の実施 (生涯学習室)	生涯を通じた学習を支援するため、乳幼児、青少年、成人および高齢者の各ライフステージに対応した学級や講座等を実施する。 【市民サービスセンター】 学級数 57学級 講座数 109講座 【生涯学習室】 青少年教室 36講座	5,845
二十歳（はたち）のつどいの開催 (生涯学習室)	人生の節目となる二十歳の門出を祝福する記念行事を通して、これからの社会を担う大人としての責任と自覚を促すとともに、ふるさと秋田への誇りや愛着を深める機会とする。 ・開催期日：令和8年1月11日（日） ・会場：CNAアリーナ★あきた（市立体育館） ・対象：平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの者 【市内対象者数】2,331人(令和7年1月末日現在)	2,035

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
新しい生活様式やライフステージに応じたオンライン講座等の実施 (生涯学習室)	新しい生活様式などに応じた学習機会の提供を図るため、スマートフォンなどの機器操作講習やオンラインを活用した講座等を実施する。 【ＩＣＴを活用した講座等実施予定数】30講座	—
社会の変化に対応した学習機会の提供 (生涯学習室)	市民サービスセンターにおいて、健康や環境問題など現代的課題や高齢者の交通安全など地域が抱える課題を学習テーマとした講座等を実施する。	—
体験活動機会の充実 (太平山自然学習センター)	青少年の健全育成や市民の生涯学習の推進を図るため、各世代が野外活動や集団生活、ものづくりなどを体験する各種事業を実施する。 ・市内小学５年生および中学１年生を対象とした自然体験活動 ・ファミリーキャンプ ・太平山前岳登山 ・スノーシューハイキング ほか	—
体験活動機会の充実 (自然科学学習館)	科学に対する市民の理解を深め、関心を高めるとともに、青少年の知的創造力をはぐくむため、科学的な見方・考え方を働かせる各種体験活動を実施する。 ・市内小学３年生および中学２年生を対象とした科学実験等の体験学習 ・科学つめあわせ便（年７回） ・オンラインわくわくサイエンス（年10回） ・ロボットプログラミング教室 ・どうぶつサイエンス ・コズミックカレッジ ・サイエンスフェスティバル ほか	—

2 新しい学習環境の充実…教育ビジョンP74

○デジタル化の推進や新型コロナウイルス感染症等に対応するため、ICTを活用した市民が利用しやすい学習環境の整備・充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
【再】新しい生活様式やライフステージに応じたオンライン講座等の実施 (生涯学習室)	新しい生活様式などに応じた学習機会の提供を図るため、スマートフォンなどの機器操作講習やオンラインを活用した講座等を実施する。 【ICTを活用した講座等実施予定数】30講座	—

【施策の方向性3：学習成果の活用支援】

1 学習成果の適切な評価と活用の推進…教育ビジョンP75

○市民が自ら学習した成果を実感し、学習意欲の更なる向上を目指して学習に取り組める環境づくりに努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
自らの学習成果を実感できる環境づくり (生涯学習室)	学習者自らが学習成果を実感できるよう、各学級や講座等の受講者に対し、学習履歴を記録する「生涯学習手帳」の活用を推奨する。	—
学習内容を評価できる機会の提供 (生涯学習室)	学習した内容について理解度、満足度等を確認する機会を提供する。	—

2 地域への学習成果の還元の推進…教育ビジョンP75

○学習意欲の向上につながるよう学びの成果を発表できる機会の充実に努めるとともに、学習者が主体的に成果を生かすことができる環境づくりに努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
学習成果の発表機会の充実 (生涯学習室)	サークル活動や各学級での学習成果を発表できるよう「市民サービスセンターまつり」等においてステージ発表や作品展示などの機会を提供する。	—

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
地域の歴史や文化を学ぶ機会の提供 (生涯学習室)	市民サービスセンターにおいて、子どもが高齢者等から地域の歴史や文化、まつりなどを学ぶ機会となる世代間交流事業を実施する。	—
学習成果を生かす機会の提供 (生涯学習室)	各学級や講座受講により学習した成果を講師として生かすことができるよう「生涯学習講師団名簿」への登録を推奨する。	—

【施策の方向性４：地域コミュニティづくりの推進】

１ 学びを通じたネットワークづくりの推進…教育ビジョンP76

○地域に根ざした活動の支援や地域と学校が連携した事業等の実施により、家族・地域の絆づくりに努め、地域コミュニティづくりを推進します。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
親子体験活動事業の実施 (生涯学習室)	市民サービスセンター等において、野外活動やものづくり体験などを行う親子体験活動事業を実施する。	—
学校と地域が連携した学習活動の実施 (生涯学習室)	学校等を会場に子どもを対象とした地域の伝統文化の伝承活動等を実施する。	—
家庭教育学級等の実施 (生涯学習室)	家族間のふれあいの大切さや子どもを取り巻く環境等について学び、参加者同士が子育てに関する情報交換ができる機会を提供する。 ・家庭教育講座 ・家庭教育学級 ・家庭教育相談事業	—
学びへのきっかけづくりと人材の育成 (生涯学習室)	学びへの参加のきっかけづくりや学んだ成果を生かせる情報を提供する。また、地域の学びと活動を活性化する生涯学習奨励員や学習ボランティアの活動を支援し、人材を育成する。	—

【施策の方向性５：読書活動の推進】

１ 図書館サービスの向上…教育ビジョンP77

○幅広い分野で多様な形態の図書館資料を収集していくとともに、市民一人ひとりのニーズや地域の課題に対応した各種事業を創出するほか、市民が必要とする各種情報を利活用しやすい環境づくりに努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
資料の整備・充実 (各図書館)	市民の読書活動や学習に必要な図書館資料を幅広く収集し、電子書籍の貸出しやかぞくぶっくぱっく事業など読書活動を支援する様々な取組に活用しながら提供する。	24,580
レファレンスや各種事業の充実 (各図書館)	市民のニーズに対応したレファレンスや各種事業を実施する。 ・市民文化講演会、講座、おはなし会 ・読書週間資料展示、各種資料展示 ・読書の記録帳 ・明德館文庫運営事業 ・石井露月顕彰事業 ほか	20,637

目標 3：将来にわたり安全安心で快適な教育環境の整備

【施策の方向性 1：良好な教育環境の整備】

1 学校の適正配置…教育ビジョン P78

- 児童生徒数の減少が予想される中、将来の児童生徒数を見据え、全市的な観点の下で、地域住民や保護者との十分な合意形成が図られるよう、引き続き、地域との協議を進めます。
- 統合に合意が得られた学校においては、統合前からの交流事業の実施や、統合後の学区の広域化に伴う通学手段の確保により、児童生徒の負担軽減を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
学校適正配置の推進 (学校適正配置推進室)	将来の小・中学校の望ましいあり方（適正配置）の実現に向け、保護者や地域住民の代表者等で構成する「地域ブロック協議会」「学校統合検討委員会」「学校統合準備委員会」を開催し、学校統合の方向性について、具体的な検討を進める。 【実施予定回数】 ・地域ブロック協議会 4回 ・学校統合検討委員会 7回 ・学校統合準備委員会 14回	1,465
学校の統廃合に向けた準備 (学校適正配置推進室)	令和8年度以降に統合を予定している学校について、交流事業の実施や記念式典の開催など、円滑な統廃合に向けた各種準備を行う。 【統合予定校】 ・令和8年4月 土崎小学校・土崎南小学校 河辺小学校・戸島小学校 ・令和9年4月 飯島小学校・下新城小学校	28,153

2 ICT環境の充実…教育ビジョンP79

○GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台のタブレット端末や大型提示装置、学習用ソフトなどを整備し、管理・運用するほか、タブレット端末を活用した学習を支援するため、小・中学校へICT支援員を配置するなど、学校におけるICT環境の整備を図ります。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
次世代型学校ICT環境の充実 (学事課)	GIGAスクール構想第1期に基づき整備した児童生徒1人1台のタブレット端末や高速大容量の校内LANなどの通信環境の管理・運用を行うとともに、GIGAスクール構想第2期に基づき、児童生徒用のタブレット端末の更新準備等を行う。 また、機器のメンテナンスや授業のサポート、教員研修の支援などを行うICT支援員を配置し、タブレット端末を活用した学習を支援する。 【児童生徒用タブレット端末更新予定】 19,493台（予備機1,200台含む） 【ICT支援員】20人	142,778 債務負担 行為設定額 177,821
小・中学校情報教育環境の整備 (学事課)	教育の情報化を推進するため、小・中学校の教育情報ネットワークシステムおよび情報機器などのICT環境を整備する。 【令和7年度更新予定】 ・職員室用デスクトップパソコン36台 ・教員用タブレットパソコン499台	137,435
小・中学校デジタル教科書の整備 (学事課)	デジタル教科書の本格導入に向け、児童生徒および指導者用のデジタル教科書の整備を行う。	8,275

3 児童生徒の実情に応じた学びの支援…教育ビジョンP79

○経済的理由や心身の障がいなど様々な事情によって学習活動が制約されることなく、すべての児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう、経済的支援や障がいの特性に応じた学習環境の整備および教材・教具の提供などに努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
小・中学校における 就学援助の実施 (学事課)	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒および障がいのある児童生徒の保護者の負担を軽減するため、学用品費、給食費、修学旅行費等の助成として就学援助費または特別支援教育就学奨励費を支給する。 【対象者予定者数】 ・就学援助費 - 小学生 1,769人 - 中学生 1,092人 ・特別支援教育就学奨励費 - 小学生 136人 - 中学生 61人 ・新一年生入学学用品費 - 小学生 269人 - 中学生 373人	340,105
小・中学校における 通学支援の実施 (学事課)	公共交通機関を利用して遠距離通学する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、通学費の一部を補助する。 【対象予定者数】 ・小学生 74人	333
小・中学校スクール バスの運行等 (学事課)	学校の統廃合により遠距離通学となる児童生徒の通学を支援するため、スクールバスを運行するほか、マイタウン・バスを利用する生徒の通学費を負担する。 【実施校】 下新城小学校、飯島南小学校、岩見三内小学校、河辺小学校、雄和小学校、広面小学校、秋田西中学校、城東中学校、飯島中学校、岩見三内中学校、雄和中学校	147,598

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
小・中学校教育団体・ 各種大会出場費の補助 (学事課)	児童生徒が、学校教育活動の一環として行われている部活動において、東北大会以上の大会に出場する際の負担軽減を図るため補助金を交付する。 また、秋田市中学校体育連盟が実施する事業に対して補助金を交付する。 【交付予定者数】 ・小学生 156人 - 東北大会 111人 - 全国大会 45人 ・中学生 756人 - 東北大会 577人 - 全国大会 179人	5,213
【再】小・中学校特別支援学級新設に伴う整備 (総務課)	児童生徒の障がいに対応した教育を行うため、新設される特別支援学級に指導上必要な教材備品を整備する。	1,984

【施策の方向性２：安全安心な教育環境の整備】

１ 校内や通学路等の安全確保…教育ビジョンP80

- 子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、子どもを見守る環境の整備や地域社会との連携に努めます。
- 子どもたちが登下校時に交通事故や犯罪に巻き込まれることがないように、PTAや町内会、見守り隊、警察および道路管理者等と協力しながら、地域ぐるみで通学路の安全確保に努めます。
- 子どもたちが学校外でも安心して過ごせるよう、学校、地域、警察および防犯協会等の関係機関と連携し、安全確保の充実に努めます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
スクールガード養成講習会の実施 (学事課)	児童生徒が安心して登下校できるよう、スクールガード（安全ボランティア）を養成するため、地域住民および保護者を対象に養成講習会を開催する。 【登録者数】4,401人（令和5年度末）	—

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
通学路の交通安全確保に関する連絡協議会の開催 (学事課)	小学校通学路における交通危険箇所の解消を図るため、「秋田市通学路の交通安全確保に関する連絡協議会」を開催し、通学路における合同点検の実施と危険箇所の改善に取り組む。 【令和6年度実績】 ○秋田市交通安全プログラムによる合同点検 ・点検箇所 6箇所 ・必要な対策数 11件	—
児童生徒の防犯に関する連絡協議会の開催 (学事課)	児童生徒の安全確保に向けた取組を推進するため、「秋田市児童生徒の防犯に関する連絡協議会」を開催し、地域ぐるみで安全確保の充実に取り組む。 【令和6年度実績】 ○防犯に関する合同点検 ・点検箇所 1箇所	—
秋田っ子まもるメールの配信 (学事課)	「秋田っ子まもるメール」により、不審者に関する情報を配信する。 【登録者数等】 (令和7年1月末現在) ・登録者数 21,566人 ・配信件数 27件	471

2 安全安心で安定的な学校給食の提供…教育ビジョンP81

- 学校給食における安全安心を確保するため、給食調理場の衛生管理および異物混入防止対策を徹底するとともに、品質や栄養価に配慮した食材の選定や食物アレルギーを有する児童生徒への適切な対応に努めます。
- 学校給食を持続的かつ安定的に提供するため、今後の児童生徒数の減少や給食調理場の老朽化への対応を踏まえた給食調理場のあり方を検討するとともに、調理業務の民間委託を推進します。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
学校給食費の適正な管理 (学事課)	学校給食費を市の歳入として適正に管理するため、給食費算定の基礎となる食数管理や給食費の収納管理を行うほか、毎日の給食食材の安定的な調達を行う。 【一日あたり見込食数】 小学校 14,074食 (うち教職員等1,029食) 中学校 7,331食 (うち教職員等 635食) 計 21,405食 (うち教職員等1,664食)	1,443,358

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
学校給食費の保護者負担の軽減 (学事課)	物価高騰対策として児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、令和6年度に改定した学校給食費の増額分を引き続き支援する。	107,567
異物混入防止対策の徹底 (学事課)	学校給食への異物混入を防止するため、調理場点検による調理環境の維持改善に努めるほか、教職員や調理員を対象とする定期研修などを行う。	—
【新】小・中学校給食用食器の更新 (学事課)	学校給食で使用している強化磁器製食器について、PEN樹脂製食器へ計画的に更新する。 【令和7年度更新予定校数】 小学校5校、中学校1校	5,000
【再】学校給食支援員の配置 (学校教育課)	学校給食の安全確保および食育の推進を図るため、学校給食事務を補助する学校給食支援員を配置する。 【配置人数】20人	30,591

3 教育施設の整備…教育ビジョンP81

- 学校施設の機能確保および教育環境の適正な維持管理を図り、児童生徒の安全安心な学校生活を確保するため、学校の適正配置の進行を踏まえつつ、「秋田市学校施設長寿命化計画」に基づいた学校施設の計画的・効果的な老朽化対策および安全対策に取り組みます。
- 社会教育施設については、市民が安全で快適に利用できるよう個別施設計画に基づき、適切な改修・更新に取り組みます。

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
【新】秋田市学校施設長寿命化計画の更新 (総務課)	小・中学校施設の長寿命化および環境改善を計画的に進めるため、平成28年3月に策定した学校施設長寿命化計画を更新する。	11,000
日新小学校の改築 (総務課)	日新小学校の旧校舎解体工事を行うとともに、グラウンド等改修工事に向けた測量・設計業務委託等を行う。	418,677

(単位：千円)

事業・取組	内 容	予算額
【新】秋田南中学校 ・築山小学校・中通 小学校併設校の整備 事業 (総務課)	老朽化した秋田南中学校の改築に当たり、築山小学校および中通小学校の統合校を併設した小中併設校を整備するため、基本・実施設計業務委託、事前建物調査業務委託等を行う。	217,326
小・中学校備品の整備・充実 (総務課)	教育環境の充実を図るため、学校備品を計画的に整備する。	38,365
小・中学校の施設改修 (総務課)	教育環境の改善を図るため、学校施設を改修する。 【実施校】 ・飯島南小学校（屋根・外壁改修） ・河辺小学校（給水設備改修） ・四ツ小屋小学校（外壁改修） ・旭南小学校（外壁改修） ・仁井田小学校（外壁改修） ・秋田西中学校（外壁改修） ・泉中学校（エレベーター設置） ・金足西小学校（マツ伐倒処理） ・飯島小学校（マツ伐倒処理および植栽）	560,273
小学校のトイレ改修 (総務課)	老朽化した小学校トイレを大規模改修する。 【実施校】 ・河辺小学校	86,876